

再評価結果（令和4年度事業継続箇所）（原案）

担当課：道路局国道・技術課
担当課長名：長谷川 朋弘

事業名	一般国道58号 北谷拡幅		事業区分	一般国道	事業主体	内閣府 沖縄総合事務局
起終点	自：沖縄県北谷町浜川 至：沖縄県宜野湾市伊佐			延長	4.3km	
事業概要	<p>一般国道58号「北谷拡幅」は、北谷町浜川から宜野湾市伊佐に至る、延長約4.3kmの主要幹線道路であり、沖縄県における幹線道路網計画「ハシゴ道路計画」の一部として位置付けられている。</p> <p>北谷拡幅の整備により、国道58号北谷地区の交通容量が確保され、交通渋滞の緩和及び沿道環境の改善等が図られるとともに、周辺観光施設へのアクセス向上ならびに地域開発プロジェクトの支援が期待されている。</p>					
H24年度事業化	H21年度都市計画決定	H28年度用地着手	H26年度工事着手			
全体事業費	約230億円	事業進捗率 (令和3年3月末時点)	5%	供用済延長	0.0km	
計画交通量	72,100台/日					
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体) 3.1 (残事業) 3.4	総費用 (残事業)/(事業全体) 158/174億円 事業費：142/158億円 維持管理費：16/16億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 540/540億円 走行時間短縮便益：524/524億円 走行経費減少便益：16/16億円 交通事故減少便益：0.58/0.58億円	基準年 令和3年		
感度分析の結果	<p>(事業全体) 交通量変動 B/C = 2.7~3.9 (交通量±10%) (残事業) B/C = 2.5~4.3 (交通量±10%)</p> <p>事業費変動 B/C = 3.0~3.5 (事業費±10%) B/C = 3.2~3.9 (事業費±10%)</p> <p>事業期間変動 B/C = 2.8~3.6 (事業期間±20%) B/C = 3.1~4.0 (事業期間±20%)</p>					
事業の効果等	<p>① 円滑なモビリティの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・損失時間の削減が見込まれる。 ・那覇空港から北谷町役場へのアクセス性が向上。 <p>② 物流効率化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那覇新港ふ頭から北谷町役場へのアクセス性が向上。 <p>③ 国土・地域ネットワークの構築</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県庁所在地（那覇市）へのアクセス性が向上 <p>④ 個性ある地域の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・那覇空港からアメリカンビレッジへのアクセス性が向上。 <p>⑤ 安全で安心できるくらしの確保</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第3次救急医療機関へのアクセス性が向上。 <p>⑥ 地球環境の保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・CO2排出量の削減が見込まれる。 <p>⑦ 生活環境の改善・保全</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NO2排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。 					
関係する地方公共団体等の意見	<p>北谷拡幅は、沖縄本島のハシゴ道路ネットワークにおいて、南北を走る強固な「3本の柱」として位置付けられており、極めて重要な道路と認識しております。</p> <p>本道路は、一般国道58号現道部における交通渋滞の緩和や沿道環境の改善を図るとともに、地域の活性化、観光支援及び物流の効率化等を目的とする道路であることから、その整備は急務となっております。</p> <p>以上により、対応方針（原案）のとおり事業継続に同意いたします。</p>					
事業評価監視委員会の意見						

<ul style="list-style-type: none"> ・対応方針（原案）に対して審議を行った結果、「事業継続」で了承された。 	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 <ul style="list-style-type: none"> ・北谷町の人口伸び率は、全国平均及び沖縄県を超える伸び率。 ・北谷町の自動車保有台数伸び率は、全国平均及び沖縄県を超える伸び率。 ・沖縄県への観光客数は近年増加傾向で、令和元年には1,016万人と過去最高を更新。 ※ 令和2年は新型コロナウイルス感染症の影響により374万人に減少。 ・キャンプ瑞慶覧（インダストリアルコリド-等）が令和6年度以降、キャンプ桑江が令和7年度以降の返還予定とされている。 	
事業の進捗状況、残事業の内容等 <ul style="list-style-type: none"> ・平成24年度に事業化、用地進捗率1%、事業進捗率5%（令和3年3月末時点）。 	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 <ul style="list-style-type: none"> ・全線開通に向けて、関係機関とも連携しながら、鋭意事業進捗を図る。 	
施設の構造や工法の変更等 <ul style="list-style-type: none"> ・今後、技術の進展に伴う新技術・新工法の採用など、コスト縮減に努めながら事業を推進する。 	
対応方針（原案）	事業継続
対応方針決定の理由 <p>以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。</p>	
事業概要図	
 <p>位置図</p> <p>北谷拡幅</p>	 <p>(自) 北谷町浜川</p> <p>北谷町</p> <p>北谷拡幅 L=4.3km</p> <p>(至) 宜野湾市伊佐</p> <p>北中城</p> <p>宜野湾市</p> <p>沖縄南IC</p> <p>北中城IC</p>

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。

※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。